



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社ロックオン 上場取引所 東
 コード番号 3690 URL http://www.lockon.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩田 進
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR担当 (氏名)梶原 直樹 (TEL)06(4795)7500
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	1,149	10.0	161	△31.7	162	△31.8	103	△32.3
27年9月期第3四半期	1,044	5.9	236	42.0	238	43.5	153	60.9

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 104 百万円 (△31.9%) 27年9月期第3四半期 153 百万円 (61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	16.48	16.41
27年9月期第3四半期	24.51	24.28

(注) 当社は、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っておりますが、平成27年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	1,278	1,128	88.2
27年9月期	1,250	1,036	82.9

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 1,128 百万円 27年9月期 1,036 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	4.50	4.50
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	11.3	200	△42.9	201	△42.9	130	△43.7	20.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名) ー、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	6,310,374株	27年9月期	6,258,600株
28年9月期3Q	—	27年9月期	—
28年9月期3Q	6,299,744株	27年9月期3Q	6,258,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、スマートフォン広告市場の継続的拡大や動画広告市場の急成長に加え、「プログラマティック広告取引」(オーディエンスデータに基づいて自動的に広告枠の買い付けを可能にする取引形態)の浸透が進み、引き続き高い成長を遂げ、平成27年のインターネット広告費はマスコミ4媒体広告費がマイナス成長となる中、前年比110.0%の1兆1,594億円(※1)と唯一プラス成長となる等、堅調に推移しております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が加速しており、平成27年国内BtoC-EC市場は、前年比107.6%の13.8兆円まで拡大しています(※2)。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率は、BtoC-ECで4.8%であり、伸びしろが大いにある分野であります。

このように対面市場が堅調に伸びている反面、スマートフォンの普及やテクノロジーの進歩等により、各市場のトレンドが急速に変化しており、企業もそれに合わせた変化を求められています。当社グループはこの市場の急激な変化に対応するため、また、当社の新しい経営方針である「マーケティングロボット」事業の領域拡大のため、平成28年9月期を、短期的及び中長期的な成長を見据えた投資期と設定し、事業の変革に努めて参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,149,764千円(前年同期比10.0%増)、営業利益は161,779千円(前年同期比31.7%減)、経常利益は162,527千円(前年同期比31.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は103,823千円(前年同期比32.3%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

① マーケティングプラットフォーム事業

当事業はマーケティングプラットフォーム「AD EBiS」を提供する事業です。「AD EBiS」は広告効果測定システムを中心とした「測定」機能と、国産リスティング広告運用プラットフォーム「THREe」に代表される蓄積されたマーケティングデータを「活用」する機能の2つで構成され、一気通貫したマーケティング統合環境の提供を実現しています。

当事業においては、「AD EBiS」の「オーディエンスエビス」(特許出願中：特願 2016-94841)や、「THREe」のAI(人工知能)を搭載した自動入札システムの刷新等、新規サービスの開発や、展示会等広告宣伝の強化といった短期的な収益拡大へリソースを投下する一方、「AD EBiS」のデータベース基板強化や、マーケティングメトリクス研究所の人員強化等による中長期的な事業拡大のための積極的なリソース投下に努めました。その結果、売上高は762,226千円(前年同期比13.4%増)、営業利益は132,791千円(前年同期比8.3%減)となりました。

② 商流プラットフォーム事業

当事業はEC構築オープンソースからなるフリーミアムモデルのECオープンプラットフォーム「EC-CUBE」と、ECサイト構築の受託開発を行うサービスである「SOLUTION」で構成されます。当事業は「EC-CUBE」の開発や他社サービスとの連携による「EC-CUBE」のプラットフォーム拡充がストック収益となるビジネスモデルです。また、受託開発の「SOLUTION」は顧客ニーズ獲得と最新技術の研究開発の役割も担い、獲得したニーズや技術を「EC-CUBE」や「AD EBiS」に還元する社内循環システムを確立しております。

当事業においては、スマホアプリやリアルPOSレジ、IoT対応なども視野に入れ、より大きな市場に対応した「EC-CUBE 3」の開発に注力し、プラットフォームの更なる拡充に努めました。また、次世代のEC基盤として、ビットコインの基盤技術である「ブロックチェーン技術」のECへの応用に関する研究開発を開始する等、これからのECを担う基盤技術の開発へ積極的にリソースを投下いたしました。その結果、売上高は387,538千円(前年同期比3.9%増)、営業利益は28,988千円(前年同期比68.5%減)となりました。

出所

(※1) ㈱電通「2015年日本の広告費」

(※2) 経済産業省「平成27年我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)報告書」

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ27,940千円増加し、1,278,416千円となりました。主な要因は、現金及び預金が65,989千円減少した一方、前払費用が11,369千円、サーバ等の設備投資により工具、器具及び備品が19,292千円、自社開発ソフトウェアの計上等によりソフトウェアが53,274千円増加したことによります。負債については、前連結会計年度末と比べ63,344千円減少し、150,233千円となりました。これは主に、納付等により未払法人税等が82,000千円減少したことによります。純資産については、期末配当の実施28,163千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上103,823千円等により、前連結会計年度末から91,284千円増加し、1,128,182千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,602	720,612
売掛金	271,496	255,664
仕掛品	335	717
前払費用	19,044	30,414
繰延税金資産	13,323	8,154
その他	2,817	13,098
貸倒引当金	△1,080	△590
流動資産合計	1,092,539	1,028,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,791	34,791
減価償却累計額	△26,867	△28,564
建物及び構築物(純額)	7,923	6,227
工具、器具及び備品	138,062	162,792
減価償却累計額	△115,285	△120,723
工具、器具及び備品(純額)	22,776	42,069
有形固定資産合計	30,700	48,296
無形固定資産		
ソフトウェア	24,024	77,298
ソフトウェア仮勘定	—	15,974
その他	46	46
無形固定資産合計	24,070	93,319
投資その他の資産		
投資有価証券	13,938	15,119
繰延税金資産	1,515	2,216
差入保証金	65,663	67,693
保険積立金	18,676	20,324
その他	3,473	3,683
貸倒引当金	△102	△307
投資その他の資産合計	103,165	108,729
固定資産合計	157,936	250,345
資産合計	1,250,475	1,278,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,408	27,785
未払金	75,857	53,431
未払法人税等	82,000	—
預り金	15,974	24,786
賞与引当金	20,700	11,100
株主優待引当金	1,080	—
その他	2,555	33,130
流動負債合計	213,577	150,233
負債合計	213,577	150,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,730	276,289
資本剰余金	258,708	266,267
利益剰余金	510,201	585,860
株主資本合計	1,037,640	1,128,418
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△742	△235
その他の包括利益累計額合計	△742	△235
純資産合計	1,036,898	1,128,182
負債純資産合計	1,250,475	1,278,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	1,044,885	1,149,764
売上原価	350,758	421,767
売上総利益	694,127	727,997
販売費及び一般管理費	457,306	566,217
営業利益	236,820	161,779
営業外収益		
講演料等収入	738	725
持分法による投資利益	—	1,180
受取家賃	828	—
その他	301	163
営業外収益合計	1,867	2,070
営業外費用		
株式交付費	107	—
為替差損	211	1,322
その他	—	0
営業外費用合計	318	1,322
経常利益	238,369	162,527
税金等調整前四半期純利益	238,369	162,527
法人税、住民税及び事業税	82,253	54,236
法人税等調整額	2,723	4,467
法人税等合計	84,976	58,703
四半期純利益	153,392	103,823
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,392	103,823

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	153,392	103,823
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△240	507
その他の包括利益合計	△240	507
四半期包括利益	153,152	104,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,152	104,330
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	672,014	372,870	1,044,885	—	1,044,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	672,014	372,870	1,044,885	—	1,044,885
セグメント利益	144,850	91,969	236,820	—	236,820

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	762,226	387,538	1,149,764	—	1,149,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	762,226	387,538	1,149,764	—	1,149,764
セグメント利益	132,791	28,988	161,779	—	161,779

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。